

WEINTEK LABS., INC.

イベントログ-統計

サンプルプロジェクト

目次

1. 概要及び操作.....	1
2. 設定手順.....	2

1. 概要及び操作

概要

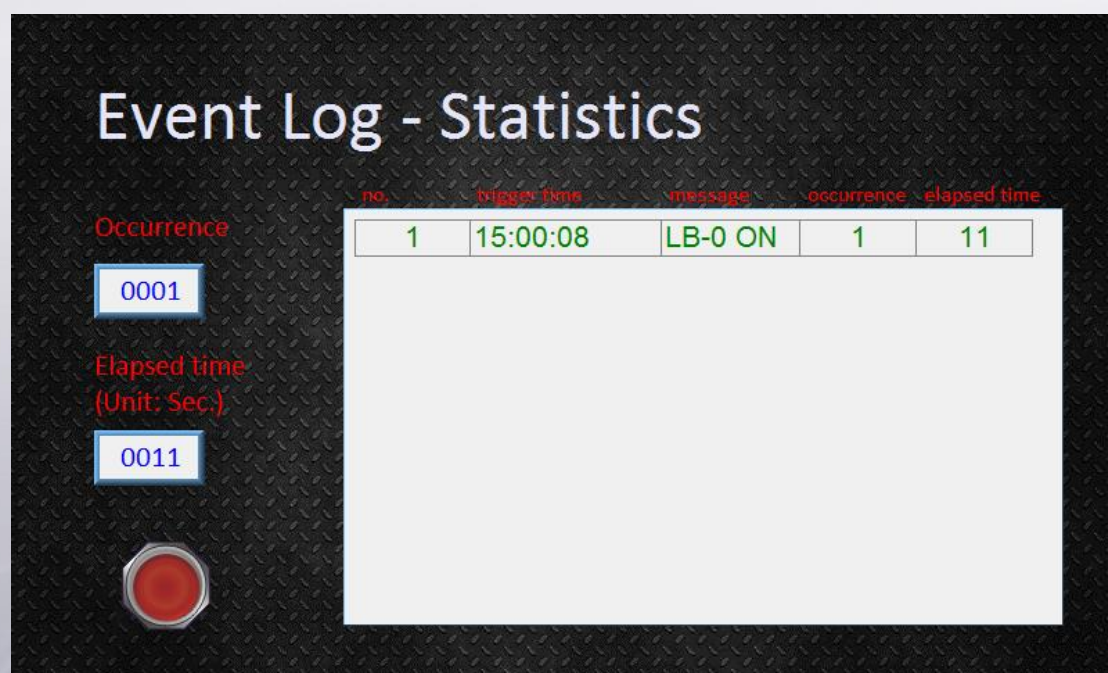
以下の例で、イベントの発生回数と経過時間をイベント表示オブジェクトに表示する方法を紹介します。

サポート EB バージョン: EasyBuilder Pro V5.05.01 以上のバージョン

操作

画面左下隅にある赤いボタンを押してイベントを誘発した後、Occurrence & Elapsed time は自動的に時間を計測します。本例では、イベントは初めて発生したので、Occurrence は 1 と表示されます。もし再度に赤いボタンを押し、イベントを復元すると、Elapsed time 内の経過時間がイベント表示に表示され、イベントが発生してから正常に戻ったまで、経過時間は 11 秒と示しています。

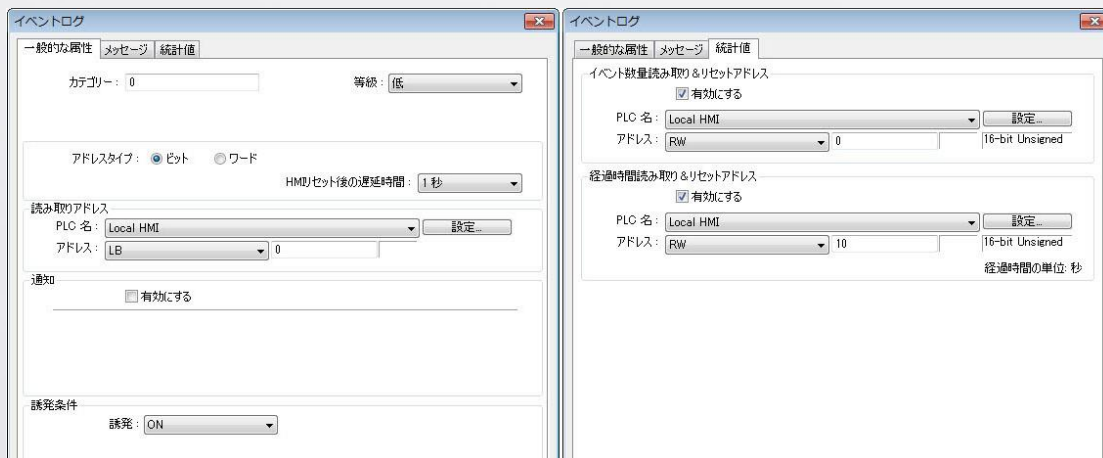
注意: Occurrence & Elapsed time は手動でゼロ復帰を許可します。



2. 設定手順

ステップ 1. 一個のイベントログを作成します。本例では、イベントログの読み取りアドレスを LB-0、誘発する条件を ON にし、統計値タブでイベントの発生回数及び経過時間の読み取りアドレスをそれぞれ RW-0 と RW-10 に設定します。

ここで RW アドレスを使用し、数値は HMI が再起動した後でも確保できます。



ステップ 2. 二個の数値オブジェクトを作成し、アドレスを RW-0 と RW-10 にし、それぞれイベントの発生回数及び経過時間を表示することにより使われます。

ステップ 3. 一個のトグルスイッチオブジェクトを作成し、アドレスを LB-0 に設定します。

ステップ 4. 一個のイベント表示オブジェクトを作成し、表示させたい項目を選択します。発生回数 & 経過時間を含みます。

イベント表示オブジェクト属性

一般的な属性

イベント表示

セキュリティ

図形

フォント

エンブティウォーニング

輪郭

カテゴリ範囲: 0 ~ 255

イベントログオブジェクト参照

承認方式: クリックする

最大イベント数: 200

色

透明

枠:

承認後:

選択:

背景:

正常に戻った後:

網目

有効にする

色:

フォーマット

配列

時間順で配列する

逆時間順で配列する

表示順

アイテムを表示

キャラクタ...

<input checked="" type="checkbox"/>	シーケンス番号	0
<input type="checkbox"/>	イベント発生日付	0
<input checked="" type="checkbox"/>	イベント発生時刻	0
<input type="checkbox"/>	承認時刻	0
<input type="checkbox"/>	正常に戻った時刻	0
<input checked="" type="checkbox"/>	イベントメッセージ	20
<input checked="" type="checkbox"/>	発生回数	0
<input checked="" type="checkbox"/>	経過時間	0

順番を表示

イベント発生時刻

イベントメッセージ

発生回数

経過時間

シーケンス番号

* "表示キャラクタ"は0の場合、システムは全てのキャラクタを表示します。

* 欄の表示幅は "表示するキャラクタ" に x の幅をかけたものです。

日付: MM/DD/YY

時間: HH:MM:SS

OK

キャンセル

ヘルプ

V1.00

3